



■卒業式(3月1日)

卒業生21人一人ひとりに、佐瀬雅彦校長から卒業証書が授与されました。授与式終了後、教室では最後のホームルームが実施されました。

■入学式(4月8日)

入学式では、新入生を迎え入れることができました。入学許可の呼名では、新入生一人ひとりの返事や表情から、高校生活への期待や決意が感じられました。佐瀬雅彦校長が式辞を述べ、遠藤秀明教育長から祝辞をいただきました。学校では今年度、より良く課題を発見し解決していくための資質・能力を育成する探究活動を整備し、3年目を迎える公営塾では高校生活の魅力化を推進、町と学校が協働する教育活動づくりに向け、さらなる取り組みの充実を図る予定です。ご支援とご協力をお願いいたします。

■人事異動

【転出】(4月1日付)

教頭 佐々木務行(室蘭栄高校へ)  
 教諭 石畝美央(音更高校へ)

【転入】(4月1日付)

教頭 町田英謙(札幌東豊高校より)  
 教諭 伊勢咲子(札幌北高校より)  
 教諭 佐藤史悠(音更高校より)

【退職】(3月31日付)  
 教諭 小林幸春

■令和6年度 学校体制

- 校長 佐瀬雅彦
- 教頭 町田英謙
- 教諭 佐々木康史(英語科/生徒・進路指導部長)、川崎泰寿(地歴・公民科/2年担任)、黒田さとみ(家庭科/教務部長)、伊勢咲子(国語科/進路指導主事)、大川和彦(保健体育科/1年担任)、嘉野佐知子(理科/3年担任)、佐藤史悠(数学科/3年担任)、瀧直也(数学科/1年担任)、早坂忠弘(商業・情報科/2年担任)
- 養護教諭 金山和歌
- ▽事務長 杉原千寿
- ▽事務職員 佐賀井未紗
- ▽地域教育魅力化コーディネーター 山中卓也(公営塾スタッフ・教育魅力化支援員兼務)

早いもので「よりみち学舎」も3年目の春を迎えました。公営塾の開設とともに厚高に入学してきた生徒たちが、卒業を迎える年となりました。これまで紆余曲折がありましたが、よりみち学舎は、

誰もが寄り道できる場所

厚高生たちの「居場所」から「活躍の場」へと変化を遂げています。

昨年を振り返ると、今までとは違い厚高生が町内で活躍をする場面が格段に増えました。まずは、各イベントでの出店者としての参加です。焼き鳥であったり、フライドポテトだったり調理補助から販売までを行いました。特に田舎まつりで出店したゲームブースでは、自分たちで企画内容を考え、当日の準備から運営まで行いました。2日間とも長蛇の列ができるほどの大盛況でした。

さらに、活躍の場は町外にも広がっていきました。厚真町観光協会と協力して活動している高校生震災ガイド「さざんか」では、札幌に住む高校生向けの説明や、他校への防災講話、青年海外協力隊北海道OB会主催の学習会での活動事例紹介なども実践しました。着実に、厚高生の活動の場は広がっています。

地域の皆さんと共に歩みを進めるよりみち学舎。今年は、厚高生と共に地域の皆さんが気軽に立ち寄り一緒に活動していく場所にしたいと考えています。音楽やスポーツ、懇談など、「誰もが寄り道できる場所」になるよう、付加価値を高めたいと思っています。

教育魅力化支援員 山中 卓也



地域住民との交流を含めた厚高生のソフトボールチーム

よりみち通信



「よりみち学舎」は厚真高校と地域が連携しながら放課後を利用して生徒が自ら目標を発見し挑戦する公営塾です。